

市議会だより

3月定例会

- 第5次飯能市総合振興計画基本構想案を可決
- 新年度予算案など可決、議会の人事

目次

見出し・目次	①
議会の人事	②・③
議案の審議	④
委員会の審査	⑤
議決結果	⑥
市政に対する一般質問・陳情・ 意見書・視察受け入れ状況	⑦～⑨
第5次飯能市総合振興計画審査特 別委員会の審査・議会改革特別委 員会第2回中間報告・意見交換会	⑩～⑪
市議案案内板	⑫



議会の新体制を決定

議長に 砂長 恒夫 議員、副議長に 松橋 律子 議員を選出

平成28年2月26日から3月17日までの21日間開催された3月定例会では、平成27年度一般会計補正予算案、平成28年度一般会計予算案などの議案が市長から提出され、12月定例会で閉会中の継続審査となっていた第5次飯能市総合振興計画基本構想案も含め、いずれも原案可決・承認等されました。

さらに、3月17日の最終日には、正副議長の辞職に伴う議長選挙、副議長選挙、常任委員の所属変更、議会運営委員会補欠委員の選任、議会改革特別委員会補欠委員

の選任、各常任委員会等の正副委員長の互選などが行われ、新しい議会の構成が決まりました。

なお、立候補制による正副議長の選挙では、本会議を休憩し、議場において立候補を表明する発言が行われ、投票の結果は下記のとおりとなりました。

●議長選挙の結果	●副議長選挙の結果
砂長 恒夫議員 14票	松橋 律子議員 14票
金子 敏江議員 4票	無効 4票

議長・副議長就任あいさつ

～行政・議会・市民のオール飯能体制でまちづくり～



議長
砂長恒夫

平素より、市民の皆様には飯能市議会に対しまして、格別なご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。私たちは、3月定例会におきまして議長・副議長に就任いたしました。議会の果たす役割と与えられた職責を十分認識して、市政発展に努めてまいりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

さて、第5次飯能市総合振興計画では「変える10年！変わる10年！飯能市から始まる日本の創生」を合言葉に、市民の皆様と共にまちづくりに取り組みます。また、「北欧の雰囲気とムーミンの世界を体験できる施設メッツァ」が平成29年のオープンに向けて着々と準備が進み、議会としても観光客数増加が予測される新たな観光資源として期待を寄せております。

行政と議会が足並みをそろえる中で、欠かせない大切なことがあります。NHKで放映された「あさが来た」のヒロイン、実在の人物の広岡浅子氏は「九つ転び十起き」を座右の銘にし、幕末から明治にかけ実業家として活躍された女傑ですが、その活躍の背景には、ご主人の「大切なサポート」があったとも言われております。何かを達成する上では、そのサポート役の存在が必要不可欠であり大切となります。

それこそが「市民の皆様」であり、チェンジをしていく流れの中で、行政・議会・市民の三者がスクラムを組み、オール飯能体制でのまちづくりをすすめることが最も大切であると考えます。魅力ある飯能構築のために、市民の皆様の力強いサポートをお願いし就任のご挨拶といたします。



副議長
松橋律子

会派の構成

◎代表者(平成28年3月17日現在)

緑の会 1	◎武藤 文夫	野田 直人	
緑の会 2	◎鳥居 誠明	砂長 恒夫	加涌 弘貴
緑の会 3	◎平沼 弘	梶田 博之	
緑の会 4	◎野口 和彦	加藤由貴夫	
翠 渓 会	◎大津 力	内田 健次	
公 明 党	◎中元 太	栗原 義幸	松橋 律子
日本共産党	◎金子 敏江	滝沢 修	山田 利子 新井 巧

委員会の構成

※◎印は委員長 ○印は副委員長



<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">議会運営委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ●議会の運営に関する事項 ●議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項 ●議長の諮問に関する事項 <p>定数7人</p>	<p>◎加涌 弘貴 ○栗原 義幸 野口 和彦 新井 巧 内田 健次 梶田 博之 野田 直人</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">総務委員会</p> <p>所管</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一般会計の歳入 ●企画総務 ●財務 ●他の委員会に属さないもの <p>定数7人 (欠員1名)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  ◎野口 和彦 前ヶ貫266-27 </div> <div style="text-align: center;">  ○大津 力 飯能339-6 </div> <div style="text-align: center;">  中元 太 落合364-47 </div> <div style="text-align: center;">  新井 巧 井上732-7 </div> <div style="text-align: center;">  砂長 恒夫 飯能703-7 </div> <div style="text-align: center;">  野田 直人 飯能1211 </div> </div>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">厚生文教委員会</p> <p>所管</p> <ul style="list-style-type: none"> ●健康福祉 ●教育 <p>定数6人</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  ◎鳥居 誠明 緑町13-13 </div> <div style="text-align: center;">  ○梶田 博之 川寺38-1 </div> <div style="text-align: center;">  山田 利子 八幡町6-15 </div> <div style="text-align: center;">  金子 敏江 大河原794-1 </div> <div style="text-align: center;">  内田 健次 原市場654-4 </div> <div style="text-align: center;">  松橋 律子 永田345-5 </div> </div>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経済建設委員会</p> <p>所管</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市民生活 ●産業環境 ●建設 ●上下水道 ●農業 <p>定数6人</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  ◎平沼 弘 南川1936 </div> <div style="text-align: center;">  ○栗原 義幸 川寺533-4 </div> <div style="text-align: center;">  滝沢 修 岩沢1146-1 </div> <div style="text-align: center;">  加藤由貴夫 新町25-1 </div> <div style="text-align: center;">  加涌 弘貴 美杉台2-11-5 </div> <div style="text-align: center;">  武藤 文夫 双柳617 </div> </div>

議案の審議

3月定例会が開催されました

3月定例会は、2月26日から3月17日までの21日間開かれ、市長提出の議案47件、議員提出議案1件、その他1件について審議等を行い、すべて議決いたしました。

○の中の数字は議案番号(順不同)

市長提出議案

③③ 平成二十八年年度飯能市一般会計予算

歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ三百五億五千万円と定めるもの。

問 ニュー福祉の概念と基本的な考え方、方向性は。

答 ニュー福祉構想は市長の福祉への熱い思いを受けて具現化したもので、ニュー福祉とは福祉サービスが必要としている当事者だけではなく、全ての市民が福祉というものに関心を持って参加、行動していただくことを目指しているものである。

問 平成二十八年度に新たに設けた発展可能性都市費の内容は。

答 本市を発展可能性都市として変貌させるための様々な施策を全庁的に展開していくための予算で、この度の機構改革でできた地方創生推進室に関する予算、この中で特に当初予算ではムーミンのライセンスの活用に関するものを計上している。

問 もう一つ新たに設けた賑わい創出費の内容は。

答 人口問題対策の一環として交流人口の増加を目的と

し、多くの人が当市を訪れ、交流と賑わいにあふれた飯能市を目指すための予算で、事業としては中心市街地の活性化や吉本興業等との連携のほか、アニメツーリズム、また市内外から人を呼び込むための友好都市をはじめとする都市間交流の推進を盛り込んだ予算である。

問 メツア関連の予算の内容と予算額は。

答 発展可能性都市費の地方創生推進事業の約九百八十二万円、交通量調査、測量、設計等を見込んでいる道路新設改良費の道路改良事業の約四千万円、ムーミン関連の展示コーナーに要する費用である図書館費の図書貸出事業の八十九万四千円などである。



飯能河原

問 バス路線の維持についてどのような方法で進めていくのか。

答 飯能市としても交通政策室を設置し、公共交通の確保についてさらに積極的に取り組んでいく方針で、市としても利用状況をもう一度把握した上で、市民の皆様が状況を伝えて、バス路線が維持できるように働きかけていく。

問 空き家対策事業の実態調査の内容は。

答 まず、空き家物件の調査、空き家物件データを作ったその台帳を作る基礎調査を行う。次に、物件データを基に所有者を確認し、その意向調査を行う。さらに空き家の使用可能性、管理状態など踏み込んだ調査をしてまとめる。その後、正確な情報が入ったら空き家対策の計画、総合的な保全管理、あるいは利活用を含めた計画を検討したい。

▼討論▲

反対の立場

農地の固定資産税、自動車税の増税、名栗幼稚園授業料の値上げ、都市計画税、阿須山中の土地開発公社用地二億円の取得、通称マイナンバー制度、(仮称)飯能大河原線などの問題があるので、反対する。

賛成の立場

企業誘致により安定した財源の確保や定住人口の増加が見込まれ、(仮称)飯能大河原線の重要性はますます高まっており、早

期に完成すべく推進していくかなければならない。発展可能性都市への転換を図るための予算が計上されているので、賛成する。

③⑤ 平成二十八年年度飯能市下水道特別会計予算

歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ二十八億二千九百五十万七千円と定めるもの。

問 大河原飯能地内の下水道工事の内容は。

答 (仮称)飯能大河原線の道路工事に伴い、特に大字飯能側の道路の下水道を布設するが、併せて大河原側も百十メートルほどの下水道を布設する予定である。

▼討論▲

反対の立場

一般財源を投入し、住民生活の向上を益々増進するよう、自治体の裁量によって繰り入れのできる特別会計の方式を継続すべきで、公営企業会計への検討は中止をするよう求める。

賛成の立場

将来の下水道事業の基盤になる事業が組み込まれ、本予算案に基づき、一戸でも早い他市町村と普及率が同等となるぐらいの下水道整備を期待するとともに、持続的な下水道経営を期待する。

委員会の

審査

議会に提出された議案や請願は、専門的により詳しく審査をするため総務、厚生文教、経済建設の3つの常任委員会に付託されます。3月定例会の主な審査内容は、次のとおりです。

○の中の数字は議案番号(順不同)

総務委員会

⑮平成二十七年飯能市一般会計補正予算(第六号)

●通知カード・個人番号カード関連事務費補助金は、平成二十七年に国の補正予算において、地方公共団体情報システム機構への通知カード・個人番号カード関連事務の委託に係る市町村の交付金に対する補助金が増額されたため、増額すること。
(反対討論あり)

③③平成二十八年飯能市一般会計予算

●平成二十八年年度税制改正は、農地保有に係る課税の強化・軽減を図るとい内容で、概要は、農業振興地域における農地を農地として利用する意志がない場合において課税の強化を図るとい予定のものであること。
●軽二輪関係に伴う増額は、約九百七十万円の増額を見込み、グリーン化特別に伴う税率の軽減は二百十六万五千円の減額を見込み、さらに初度検査年月から十三年を経過した車両に対する重課分は、約四百五十万円の増加を見込んでいること。
(反対討論あり)

厚生文教委員会

⑮飯能市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

●今回の税率改正は、資産割と平等割を引き下げ、所得割と均等割を引き上げるものであること。
●国民健康保険に加入されている約一万四千五百世帯のうち、税額の下がる世帯が約八千七百世帯、上がる世帯が約五千八百世帯と見込んでいること。
(反対討論あり)

③③平成二十八年飯能市一般会計予算

●新年度の健康福祉部は、健康推進部と統合することによって、医療、介護と福祉の連携を強め、さらに業務の効率化を図るといように考えていること。
●レスパイトケアとは、超重症心身障害児等がショートステイやデイサービスを利用している間に、介助している家族が一時的に介助から解放され、休息を取ることができるようにするための支援で、ショートステイ促進事業、デイサービス促進事業それぞれ月に十日として予算化していること。

経済建設委員会

③③平成二十八年飯能市一般会計予算

●美杉台中学校建設費償還金について、都市再生機構に対し毎年連絡を取っているが、都市再生機構と飯能市との契約上のものなので、例えば土地の無償譲渡や金利の見直しは契約上できないこと。
(反対討論あり)

●廃棄物処理施設整備基金は、現在、実績ベースでは平成二十七年末でおよそ二十七億円、これは貸付金も含んでいるが、これからごみ処理施設建設事業に約二十一億円を充てることとなり、約六億円が残額となる予定であること。

③⑤平成二十八年飯能市下水道特別会計予算

●集落地沿道間伐事業として道路沿いの間伐を、間伐奨励事業として森林所有者の行う間伐行為に対しての補助をそれぞれ行い、林道の整備は、平成二十八年当初予算としては林道八徳入線、花桐線、原市場名栗線の修繕工事を計上していること。
●(仮称)飯能大河原線の進捗状況は、用地買収率百パーセントで、道路工事と橋梁下部工の一部着手し、平成三十年末の全線開通を目指して事業を実施していること。
(反対・賛成討論あり)

●庁内合意を得て平成三十一年四月を目標に、下水道特別会計と特定環境保全公共下水道会計の二つの会計について、公営企業会計の適用に向けた準備を進めること。

●阿須小久保線に布設する管きよは、八高線ガード下付近の下水を集める大変重要な管きよとなるが、現在の管きよ整備は、区画整理地内の整備を優先に進めて行くとい考え方で進行し、阿須地区の工事は、阿須小久保線の進捗状況にあわせて進めていきたいと考えていること。
(反対・賛成討論あり)



クリーンセンター

平成28年3月定例会 議決結果

■賛否が分かれた議案

※表の見方：議案番号の「議提」は議員提出議案の略、○は賛成の議員、×は反対の議員

議案番号	議案名	議席番号・議員名																			議決結果
		1 栗原 義幸	2 中元 太	3 大津 力	4 野口 和彦	5 滝沢 修	6 山田 利子	7 新井 巧	8 金子 敏江	9 内田 健次	10 平沼 弘	11 (欠員)	12 加藤由貴夫	13 砂長 恒夫	14 鳥居 誠明	15 松橋 律子	16 加涌 弘貴	17 梶田 博之	18 野田 直人	19 武藤 文夫	
79	第5次飯能市総合振興計画基本構想(案)について	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
16	飯能市国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
19	平成27年度飯能市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
32	財産の取得について	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
33	平成28年度飯能市一般会計予算	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
34	平成28年度飯能市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
35	平成28年度飯能市下水道特別会計予算	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
40	平成28年度飯能市特定環境保全公共下水道特別会計予算	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
41	平成28年度飯能市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
44	平成28年度飯能市水道事業会計予算	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※加藤由貴夫議員は議長のため、採決には加わっていません。

■全会一致の議案等

議案番号	議案名	議決結果
1	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度飯能市一般会計補正予算(第5号))	承認
2	飯能市山間地域振興審議会条例の一部を改正する条例	原案可決
3	飯能市行政不服審査法施行条例	原案可決
4	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決
5	飯能市職員定数条例等の一部を改正する条例	原案可決
6	飯能市一般職非常勤職員等の任用、勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
7	飯能市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
8	飯能市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決
9	飯能市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
10	飯能市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
11	飯能市の市長、副市長及び教育長の給与等に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決
12	飯能市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
13	飯能市公共施設等マネジメント推進審議会条例	原案可決
14	飯能市教育施設整備基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例	原案可決
15	飯能市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決
17	飯能市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例	原案可決
18	飯能市災害派遣手当等の支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
20	平成27年度飯能市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
21	平成27年度飯能市下水道特別会計補正予算(第2号)	原案可決
22	平成27年度飯能市笠縫土地区画整理特別会計補正予算(第3号)	原案可決
23	平成27年度飯能市双柳南部土地区画整理特別会計補正予算(第3号)	原案可決
24	平成27年度飯能市岩沢北部土地区画整理特別会計補正予算(第3号)	原案可決
25	平成27年度飯能市岩沢南部土地区画整理特別会計補正予算(第3号)	原案可決
26	平成27年度飯能市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
27	平成27年度飯能市訪問看護ステーション特別会計補正予算(第2号)	原案可決
28	平成27年度飯能市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
29	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合の規約変更について	原案可決
30	市道路線の廃止について(大字岩沢地内)	原案可決
31	契約の締結について(飯能第一小学校屋内運動場改修・耐震補強工事(建築工事))	原案可決
36	平成28年度飯能市笠縫土地区画整理特別会計予算	原案可決
37	平成28年度飯能市双柳南部土地区画整理特別会計予算	原案可決
38	平成28年度飯能市岩沢北部土地区画整理特別会計予算	原案可決
39	平成28年度飯能市岩沢南部土地区画整理特別会計予算	原案可決
42	平成28年度飯能市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
43	平成28年度飯能市訪問看護ステーション特別会計予算	原案可決
45	平成27年度飯能市一般会計補正予算(第7号)	原案可決
選挙1	埼玉県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙	選挙
議提1	児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書	原案可決
	議員派遣の件	派遣
46	監査委員の選任について(加藤由貴夫)	同意

市政に対する

一般質問

一般質問とは、議員がそれぞれの視点から市の行政全般について市長(執行部)に質問し、説明を求めるものです。

「市議会だより」には、質問者本人が執筆したものを、発言順に掲載しています。

今回は、7人が質問にたちました。

地域活性化

中心市街地活性化計画について

野口 和彦

問 中心市街地活性化基本計画は、平成二十二年から平成三十二年までの計画で、来年度から始まる第五次飯能市総合振興計画との整合性は乏しく、バージョンアップが必要。そのために、景観法に基づいて、景観条例を制定して市民の皆さんと一緒に中心市街地のまちづくりを進めていくことが有効だと考えるがいかがか。

答 景観法を活用してまちの魅力を高めることなども非常に有効な手段だと認識している。ただ、独自の景観条例や屋外広告物条例を制定するなど、取り組みを強化するためには、まず景観行政団体になる必要がある。現在、県内では川越市や秩父市など十六の団体がこの景観行政団体になっているので、先進事例を研究し、県との協議に向けた準備を進めていく。

要望 景観条例を活用することは非常に有効な手段だと考えます。ぜひ前向きに検討をしていただきたいと思います。

飯能市「家庭の日」を夢馬ファミリーデーに

中元 太

問 家庭の日とは、赤ちゃんから高齢者、障がい者、健常者のすべての市民が対象では。

答 すべての人が思いやりの心、助け合いの心を持つような事業を関係部署や関係団体との連携を図り、展開していきたい。

問 誰もが情報保障された飯能市に。

答 マーケティングやマネジメント能力と飯能ブランド化への推進力等持ち合わせた単独の観光部署が必要と考えるが。

問 職員の意識改革、組織内部の見直し、新たな体制づくりが必要と感じている。

答 障害者差別解消法を踏まえ、公共性の高いイベントには充実したサービス(手話通訳者・点字配布物)が必要では。

問 手話通訳者の配置、点字配布物の用意をこれまで以上に努

山間地域の振興について

空き家対策について

栗原 義幸

問 「小さな拠点」の設置推進は、主に山間地域等における集落ネットワーク圏の形成と集落を維持可能とする取り組み。本市でも第五次総合振興計画に推進が位置づけられた。概要を聞く。

答 地域とともに新しい仕組みを創り出す姿勢が必要。国の財政支援も見込まれ、事例等も参考に踏み込んだ検討をしていく。

問 「地域おこし協力隊」の導入推進も第三次山間地域振興計画に盛り込まれた。地域活性化に有

効 と考えるが推進概要を聞く。

答 地場産業である林業や農業等、特色ある産業への支援や従事者が効果的と考えている。

問 増加する空き家の対策として対策計画の策定が必要では。

答 総合的・計画的な対策が求められることから、計画策定の必要性は高いものと考えている。

問 妊娠・出産から切れ目のない子育て支援を可能とする「飯能版ネウボラ」開設への状況は。

答 早期開設を目指していく。

市民活動支援について

大津 力

問 飯能アプリに市民がイベント情報を告知することはできないか。

答 市の公式のものである関係から、市民の方が直接掲載することは様々な面から難しい。別ホームページや共通のアカウン

問 中心市街地の歴史的建造物を活かして、木工、鉄工、ガラス工、美術、手芸等の職人、芸術家の方に店舗に入っていただ

答 市内各所で、綿々と引き継がれてきた匠の技や現代感覚の様々な作品、商品に来訪者が惹きつけられ、魅力ある空間や景観が形成されるなど、新たな観光資源ともなり得る提案であると

答 早期開設を目指していく。

と感じている。

公共交通計画の目に見える具体を 移動販売に支援事業を

新井 巧

問 公共交通計画も三年目を迎える。本格的な具体化、目に見える変化が期待される。全国では交通計画が大きく動き出している。実証実験も動き出している。県内ではデマンドシステムが進み、秩父、北本など二十近い自治体が始めている。タクシ事業者との連携会議等を実施し、踏み出してほしいが。

答 バスなどの既存の交通を圧迫することがあってはいけない。二十八年度は、本市の公共交通

を考える場として、市民をはじめ、関係機関で構成する協議会を設置し、検討したいと考えている。

問 地域のお店やコンビニ、生協、宅配業者等との連携などで、移動販売など買い物支援事業を検討してほしいが。

答 商工会、商店連盟に聞き取りを行った。運搬等の負担軽減ができれば実現可能な支援もある。社協等との連携、ICTの活用も含めて研究していきたい。

メツアの開設により 久下六道線の再検討はあるのか

滝沢 修

問 第五次総合振興計画では、「長期間にわたり整備等がされていない都市計画道路は再検証を行い、計画変更等の検討を行う」としているが、検討状況は。

答 メツア開設で予想される渋滞や交通安全など短期的な対策、将来像を踏まえた中長期的な展望も検討を進めている。久下六道線についてはメツア開設後、訪れた方が飯能駅や東飯能駅周辺を回遊したくなる様に中心市街地やその周辺の道路と

一体的にどうしたらよいか等の提言をまとめている。

問 メツアとの関係では、宮沢湖・天覧山・飯能河原・阿須を結ぶ都市回廊の形成とあるが、久下六道線の位置づけは。

答 都市回廊の位置づけはないと認識している。

介護保険問題 要支援一・二のサービスは 「新総合事業」でどうなる？

金子 敏江

問 現在、要支援一・二の方で介護サービス、予防給付を受けている人の八割以上はヘルパーによる訪問介護、デイサービスを利用している。これが地域支援事業の「新総合事業」に平成三十年三月末までに移行することになった。利用者へのサービスは後退しないか。事業所への影響はどうか伺いたい。

答 国のガイドラインでは「既にサービスを利用して今後ともサービスが必要な人」、「認知機

能の低下により専門的なサービスを必要とする人」には専門的なサービスを提供する。市では利用者の状態や希望を踏まえ、専門的なサービスを必要とする人には専門的なサービスを提供する。多様な担い手によるサービスを望む人にはそのように各機関と連携して的確なサービス提供につなげていく。また、市内の事業所を訪問し、八割以上の事業所が介護報酬一割削減した給付でできると回答している。

飯能市の先進事例を視察に来られました

- 飯能市では、エコツーリズム、ローケーションサービスなど数々の特色ある事業に、また、市議会では、タブレット端末導入（ペーパーレス会議）など、議会改革に取り組んでいます。
- 他市区町村議会議員の行政視察の受け入れ状況
(平成二十八年四月四日現在)
- 埼玉原杉戸町議会(議会運営委員会)・十名(月十一日)
- 山梨県南アルプス市議会(「公明党」会派)・三名(月十一日)
- ・シティプロモーション推進事業
- 静岡原清水町議会(議会運営委員会)・八名(月十九日)
- ・ICT活用による議会改革の推進
- 兵庫県たつの市議会(議会運営委員会)・十名(月二十一日)
- ・議会改革の取組み
- ・タブレット端末導入による議会運営
- 香川県坂出市議会(議会運営委員会)・十名(月二十一日)
- ・タブレット端末を導入した議会運営
- 大分県日田市議会(議会運営委員会)・十一名(月二十七日)
- ・議会運営について(タブレット端末、政務活動費)
- 東京都青梅市議会(議会運営委員会)・十一名(月一日)
- ・タブレット端末について
- 愛知県蟹江町議会(「新風」会派)・四名(月二日)
- ・タブレット端末の導入
- 兵庫県川西市議会(議会運営委員会)・十三名(月八日)
- ・議会改革について
- ・ICTを活用した議会運営
- 京都府福知山市議会(議会改革検討会議)・九名(月十日)
- ・議会のICT化について
- 福島県三春町議会(議会運営委員会)・九名(月十八日)
- ・タブレット端末の導入
- ・反問権の実施
- 岩手県久慈市議会(「新政会」会派)・六名(月十九日)
- ・タブレット端末の活用



「市政に対する一般質問」の様子を配信しています



飯能市ホームページ「市議会」の議会中継専用ページからご覧ください。

※場合によっては、掲載が遅れることがありますのでご了承ください。

「市政に対する一般質問」の
ライブ中継を始めました

平成28年3月定例会から市役所本庁舎1階ロビーにおいて一般質問のライブ中継を開始しました。



市民から市議会へ提出

陳情

○の中の数字は陳情番号

①軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情

提出者

軽度外傷性脳損傷仲間の会

代表 藤本 久美子
外四名

②宇宙船地球号を守る為の陳情・地球社会建設決議陳情書

提出者

荒木 實

市議会から国等へ提出

議員提出議案として提出され、議会の議決を得て国等へ提出したものの。

意見書

児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書(抜粋)

国におかれては、早期に児童福祉法等改正案を国会に提出するとともに、下記の事項についても速やかに実施するよう強く求めるものである。

記

- 一 「子育て世代包括支援センター」を法定化し、全国展開を図ること。また、養育支援訪問事業や、ホームスタート(家庭訪問型子育て支援)事業を全ての自治体で実施できるようにすること。
- 二 児童相談所全国共通ダイヤル「一八九」の更なる周知を図るとともに、通報しやすい体制を整えること。
- 三 児童相談所の体制や専門性を抜本的に強化すること。
- 四 児童相談所と関係機関との間における緊密な連携体制を再構築すること。
- 五 一時保護所における環境改善を早急に図るとともに、量的拡大を図ること。
- 六 被虐待児童について、十八歳を超えても引き続き自立支援が受けられるようにするとともに、施設退所後や里親委託後の児童等に対しきめ細かなアフターケア事業を全国で実施すること。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、国家公安委員会委員長あて

請願・陳情の提出方法について … 市民の声を市政に …

本文(例)

〇〇〇に関する請願
(趣旨).....
.....
以上、地方自治法第124条の規定により請願いたします。

平成 年 月 日
住 所
氏 名

①
外〇名

紹介議員 ◇◇◇◇
同 ▼▼▼▼
同 □□□□

飯能市議会議長 〇〇〇〇様

署名簿(例)

住 所	氏 名	印

市政などについての意見や要望を議会に提出することができます。このことを請願または陳情といいます。

請願は、紹介議員(二名または三名)が必要で、議会の審査対象となり、担当の常任委員会で慎重に審査し、本会議において採決を行います。

陳情は、紹介議員は必要ありませんが、原則として議会の審査対象にはならず、議場に陳情の写しを配付するのみとなります。

※書式例(請願の場合)A4版縦書きでも可。提出者、署名者は住所、氏名(署名または記名押印)をお願いします。

第5次飯能市総合振興計画基本構想(案)を原案可決

12月定例会で閉会中の継続審査となった第5次飯能市総合振興計画基本構想(案)は、第5次飯能市総合振興計画審査特別委員会において3日間慎重な審査を行い、原案可決(多数)いたしました。

特別委員会での主な審査内容は、次のとおりです

第四次飯能市総合振興基本計画が平成二十七年年度をもって終了するので、新たに、総合的かつ計画的な行政運営を図るための指針として、平成二十八年年度から平成三十七年度までの十か年を計画期間とした第五次飯能市総合振興計画基本構想を定めるもの。

第五次飯能市総合振興計画審査特別委員会

○総合振興計画は市政の総合的・計画的な行政運営の指針であると同時に、市民や民間団体等の地域活動における共通目標・行動指針であることから、計画をまとめた主体は市だが、そこには市民の意見や意思が反映されていること。

○「オンラインワン、ナンバーワンの森林文化都市」については、「オンラインワン」は、森林を育て、森林に育てられてきた人々の営みや歴史、先人が築き上げてきた本市の独自性といった意味での「オンラインワン」であること。「ナンバーワン」は、その独自性が単なる独自性だけでなく、他地域の人々に魅力あるものとして高く認められ、また認められるよう追求心を高めていくことが重要であることから、敢えてナンバーワンを目指すとして、二つの言葉を並べたこと。

○目標交流人口を年間四百八十八万人と設定した根拠は、新たな交流施設メツツアの交流人口を約百万人と見込み、この波及効果が期待されるあけぼの子どもの森公園や市内観光スポット等への交流人口増加をこれまでのデータを参考に見込んだこと。

○本市は地域の七六%を占める豊かな森林、そして清らかな河川や宮沢湖、名栗湖など貴重な水と緑を有しており、これらは市民の誇りであること。これまでは水と緑をまちづくりに積極的に生かす視点としては希薄であったが、第五次総合振興計画では本市の特性を十二分に生かし、水と緑の交流をまちづくりの新機軸に位置付け、まちづくりの刷新を図っていくこと。

飯能まつり



あけぼの子どもの森公園



○メツツアとあけぼの子どもの森公園をつなぐ阿須小久保線は最重要路線として整備を進めること。ウォーキングやハイキングなどでの交流スポットの回遊を想定し、交流拠点をつなぐルート開発に取り組むこと。

○市では現在、地域福祉に対する市民の意識を変えるため「ニュー福祉」構想を掲げ、福祉に関わる人だけでなく、全ての人に福祉に対して関心を持っていただき、参加・行動していただくよう取り組んでいること。

○市民が住み続けたい最大の理由は身近で豊かな自然環境であることから、森林文化都市として、自然環境と都市環境が調和したまち、それにふさわしい街並み、かつ安全な交通環境や都市基盤なども求められること。

○山間地域振興における小さな拠点づくりについては、集落移転のよりに居住の集約化を進めるものではなく、人口が減少しても地域住民の暮らしが守られ、地域に住み続けられることを目指す取り組みであること。そのために住民生活に必要なサービスについて一定のエリア内に集約し、拠点と周辺集落をネットワークで結び、生活を維持していく取り組みであること。

▼討論 反対の立場

ムーミンテーマパークについて交通問題のマイナスイメージ、財政的な負担などの具体的な分析、試算もない中で、今後十年間の飯能市の総合振興計画の柱に据えるには無理があること。市民生活の実態をきちんと把握し、市民の暮らしに寄り添った計画として不十分であることを。また、県水の縮小・中止を求めること。

会議風景



「議会改革特別委員会」第二回中間報告書(抜粋)

本委員会は、本市議会の議会改革について必要な調査、研究を行い、議会改革をさらに推進するとともに、市民に身近で開かれた議会を目指すため、平成二十六年三月定例会(平成二十六年三月十八日)において設置され、閉会中も継続して調査してきたところである。

本委員会の調査事項について、平成二十七年三月定例会において中間報告を行ったが、以下、その後の各回の主な調査、研究の内容等について中間報告する。

- クラウドシステムについて
 - ・クラウドシステムについては操作性、コスト面、フォルダの階層の制限がないことなどを考慮して業者を選定する予定であること、来年度のシステム構成についてはタブレット端末の通信料を抑えるため、市役所本庁舎四階・五階で使用している無線LANを、庁舎外のインターネットにつなげる工事を行う予定であること、現在使用しているNASについては特に費用負担がなく、危機管理対策としてインターネットにつながらなくなった場合などに備えるため、現在のまま残しておく予定であることなどを委員から了承された。
 - 一般質問のライブ中継を市役所ロビーで放映することについて
 - ・三月定例会から実施すること、ま

た、発言の訂正等があった場合は飯能ケーブルテレビの録画放送でテロップを流すこと、議事進行などが発生した場合も放映は止めないこと、休憩中の画面は議場の静止画に「コ今、休憩中です」のテロップを表示することを委員会として決定した。



1階ロビーでの議会ライブ中継

- 議案書のペーパーレスについて
 - ・議案書については基本的にデータベース、予算書・決算書については基本的に紙ベースとして、データベースでも見られるようにすることとした。
 - 議案書のホームページ掲載について
 - ・三月定例会から議案書をホームページに掲載するが、請願、陳情、要望等のホームページへの掲載については、紹介議員のあるもの(請願)は全て掲載(請願文を掲載)すること



会議風景

- とを委員会として決定した。
- 新型タブレットの使用について
 - ・三月二日に開催されたIT会議の報告事項については、アプリケーショントの制限を解除すること、使用基準を見直すことであり、委員に周知された。
 - 決算特別委員会について
 - ・決算特別委員会の見直しについては委員の選任、総括質疑などについて協議したが、引き続き議論が必要のため、会派に持ち帰り平成二十八年六月までに結論を出すこととした。
 - タブレット端末導入における行政視察の受け入れについて
 - ・ペーパーレス化の推進等を図るため、全国に先駆けてタブレット端末の導入を平成二十四年度に実施して以来、平成二十八年二月末現在で百八十六自治体の行政視察の受け入れを行った。

相田博之議会議会改革特別委員会委員長が「タブレット端末の導入」についての研修講師を務めました。

平成二十八年二月二十六日の市町村職員中央研究所の研修事業において、相田博之議会議会改革特別委員会委員長が、全国の市町村議会事務局職員百七名に対して、飯能市議会の先進的な取り組み事例である「タブレット端末の導入」についての研修講師を務めました。



研修会

「飯能市議会と飯能市観光協会との意見交換会」を開催しました。

飯能市議会では、市民との意見交換の場を多様に設け、市民参加の機会を保障するため、平成二十八年二月十七日に、「飯能市議会と飯能市観光協会との意見交換会」を開催しました。

飯能市観光協会からの報告等を受けた後、意見交換を行いました。

◆意見交換会のテーマ◆
「飯能市の観光について」

- 観光の基盤整備(インフラ)の促進
 - ・ハイキングコースへの公衆トイレ・道標(市内同一の仕様)の設置促進、山林(河川(深畔林を含む))・道路の路肩等の景観整備の促進
 - 財政・事業運営の支援
 - ・財政的支援(独自性を高められるような柔軟な予算措置)
 - ・飯能駅観光案内所「ぶらっと飯能」の充実と、お土産ショップ「夢馬」の今後の運営について
 - ・フィンランドとの交流促進(その他諸外国との交流促進により国際観光都市を目指すために)
 - ・各種イベントの見直し(同時開催の催し物の集約)



意見交換会

市議会案内板

HANNO

お問い合わせは

議会事務局またはホームページで

TEL 042-973-2686

<http://www.city.hanno.saitama.jp>



あけぼの子ども森公園

審議の日程

3月定例会

- 2月26日 開会、市長提出議案の上程・提案理由説明
- 3月 1日 議案質疑
- 2日 議案質疑、議案の委員会付託
- 3日 一般質問
- 4日 一般質問
- 8日 常任委員会(総務・厚生文教・経済建設)
- 9日 常任委員会(総務・厚生文教・経済建設)
- 10日 常任委員会(総務・厚生文教・経済建設)
- 17日 委員長報告・質疑・討論・採決
議会改革特別委員会の第2回中間報告
埼玉県後期高齢者広域連合議会議員選挙
議員提出議案の上程・提案理由説明・採決
議長選挙、副議長選挙
常任委員の所属変更の件
議会運営委員会補欠委員の選任
議会改革特別委員会補欠委員の選任
埼玉西部消防組合議会議員の補欠選挙
市長提出追加議案の上程・提案理由説明・採決
閉会

議会日誌

1月

- 5日 飯能市議会広報委員会
- 15日 第5次飯能市総合振興計画審査特別委員会第2日目
- 19日 埼玉県都市競艇組合議会臨時会
- 22日 議会改革特別委員会
- 27日 飯能市地域創生プログラム策定協議会
- 28日 第5次飯能市総合振興計画審査特別委員会第3日目

2月

- 4日 第3次飯能市山間地域振興計画策定協議会
- 9日 代表者会議
- 10日 埼玉西部消防組合議会定例会
- 12日 広域飯能斎場組合議会定例会
- 16日 全員協議会
議会改革特別委員会
- 17日 飯能市観光協会との意見交換会
- 23日 議会運営委員会
- 26日 第1回定例会(3月17日まで)
飯能市議会広報委員会

3月

- 1日 飯能市議会IT会議
- 3日 議会改革特別委員会
- 16日 飯能市教育大綱策定協議会
- 29日 埼玉県都市競艇組合議会定例会

4月

- 4日 飯能市議会広報委員会

議案書をホームページに掲載しました！

平成28年3月定例会より、議案書を市議会ホームページ議案一覧表にてご覧いただけるようになりました。ぜひご覧ください。

議会を傍聴しませんか

3月定例会では延べ47名の方が傍聴されました。

次回の6月定例会は
6月3日開会予定です。

会期日程等は5月31日頃内定します。

会議録は次の施設またはホームページでご覧になれます
市役所内:議会事務局(4階)・市政資料コーナー(3階)

戸田競艇場開催日(埼玉県都市競艇組合主催分)

5/14~5/17、5/20~5/23、6/2~6/5、6/8~6/13

お問い合わせ先

埼玉県都市競艇組合事務局 TEL 048-823-8711

(収益金の一部は飯能市の収入となり、市の事業に活用されています)

* 編集を終えて *

新年度がスタートしました。市の今後10年間の計画、「第5次飯能市総合振興計画」の始まりです。10年後の推計人口は7万6000人ですが計画では8万人としました。地方創生のもと飯能市版の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」も始まります。

今年は、日高市・飯能市を中心に設置された高麗郡の建群1300年でもあります。高句麗から高麗群へ1799人が移住したのが始まりです。脈々と受け継がれてきた歴史の重さを感じます。

様々な施策が盛り込まれた飯能市の計画、今後10年間が長い歴史への1ページとなるよう、個性豊かな飯能市づくりを展開する時です。

(滝沢)



広報委員 (◎委員長 ○副委員長)

◎滝沢 修 ○鳥居誠明 栗原義幸 中元 太
大津 力 野口和彦 新井 巧 平沼 弘